

弁護士料について

弁護士に依頼をしようとする時、まず一番先に「弁護士料」について考える方が殆どだと思います。弁護士は医師、歯科医師または会計士と同様に専門的知識を必要とする職業ですので、通常、専門料金を請求します。弁護士の主な業務は問題や紛争の回避または、それらの解決の為のアドバイスをこなうことです。

今回の記事では弁護士料について説明したいと思います。弁護士が提供する法的サービスは実体的なものではない為、弁護士料がどのように設定されるのか疑問に思う方も多と思います。

弁護士が代理人として、法的業務やそれに伴う調査等を行なう場合、その業務がすべて完了するまでにかかる経費を正確に依頼人に対して提示することは非常に困難です。なぜなら、依頼を受けた時点では予想不可能な事態が発生したり、より詳しい調査が必要になったりすることが常に起こりうるからです。弁護士料の請求には、一括全額払、成功報酬、時間払等があります。またこれらの弁護士に対する報酬とは別に、法的業務や調査を行なう上で必要な費用も発生します。

基本的に、弁護士料の設定は相談や依頼内容により大きく異なります。例えば、人身事故に対する損害賠償請求の依頼をした場合、通常、成功報酬制を適用します。損害賠償としての金銭が支払われなかった場合、弁護士料を支払う必要はなくなります。また、軽犯罪、離婚訴訟、移民法に関する依頼に関して、多くの弁護士は一括全額払制を適用します。一括全額払制とは弁護士が代理人として法的業務を遂行する上で必要な全ての費用を一括払いする事です。民事訴訟の被告を代理する業務、ビジネス関連の訴訟、その他のビジネスに関する依頼に関しては時間払制を適用するのが一般的です。

無料相談

相談または依頼の内容により、無料相談を提供する弁護士や法律事務所も多くあります。例えば、私の事務所では、ビジネスに関する依頼や相談以外のケースに対して30分間の無料相談を提供しています。ただし、内容が複雑で、かつ付加的な調査が必要となる場合、相談料を請求されることがあります。人身事故や雇用に関する依頼等の場合、多くの弁護士が無料相談を提供しています。無料相談の際には、依頼内容に対してどのような弁護士料の設定をするか、また弁護士料とは別に、法的業務に伴う費用に関しての提示や説明を行います。

弁護士料の主な料金設定として、全額払制、成功報酬制、時間払制を紹介しましたが以下にその詳細を説明しました。

一括全額払制—弁護士料全額を一括で前払いします。通常この料金は払い戻しが不可能で、料金に費用が含まれる事もあります。主に、下記のような相談内容に適用されます。

- 1 会社設立
- 2 移民関係
- 3 犯罪行為
- 4 離婚訴訟
- 5 知的所有物に関する事柄

成功報酬制—弁護士料を損害賠償金から、一定の割合で支払います。もし依頼人の相手が勝訴し、損害賠償金が支払われない場合、弁護士料を払う必要はありません。損害賠償額によって異なりますが、一般的に33%～40%が弁護士料となります。通常、費用はこの割合に含まれていません。成功報酬制は主に、下記のような訴訟問題に適用されます。

- 1 不法死亡
- 2 人身事故-交通事故
- 3 人身事故-屋内での事故と責任
- 4 人身事故-故意による不法行為
- 5 不当解雇
- 6 セクシャルハラスメントを含む雇用に関する事柄(例えば残業手当)
- 7 人権-人権無視

時間払制—法的業務に要した時間数で弁護士料を決めます。1時間あたりの弁護士料の中に通常、費用は含まれません。これは、一括全額払制及び成功報酬制に該当しない依頼内容に関して適用されます。近年のサンディエゴの傾向では、1時間あたりの弁護士料は、約\$200から\$350、ロサンジェルスやニューヨークでは、約\$300から\$500が一般的なようです。このような地域差もありますが、依頼内容が非常に複雑な場合や、困難でかつ多くの調査を要する場合、より高い弁護士料が設定されます。時間払制は主に、下記のような事柄に適用されます。

- 1 民事訴訟での被告の弁護
- 2 複雑な訴訟(民事、刑事共)
- 3 ビジネス論争に関する民事訴訟
- 4 複雑な法的書類作成
- 5 複雑な事柄に関する法律相談
- 6 特異な問題

費用

調査費、裁判費、宣誓供述費、専門家証人の旅費など、法的業務を行なう上で、必要な費用全てが含まれます。費用は法律事務所や弁護士が依頼人に代わって立替払いすることもあります。相手側からの損害賠償金で支払われるなど、ケースによって異なります。ある特定のケース、例えば専門家証人を必要とするケースなどは費用が非常に高くなる事があります。専門家証人とは特定の分野に関して特別な知識を持つ者で、訴訟の論点である事柄に関してその証拠もしくは反証を裁判又は調停で示す事が彼らの主な役割となります。

弁護士に依頼する場合、上記に示した内容を踏まえ、弁護士料また、その他にかかる費用について事前に確認する事が大切です。これらのことについて十分な説明を受ける事により、弁護士料やその他の費用に関して正しく理解できるでしょう。

(尚、この記事は参考として一般的な概要を皆様にお伝えすることを目的としたものであり、個々のケースに対する法律のアドバイスではありません。)